

協働型公園管理運営を 推進します

東区では従来から、町内会、学校、企業、市民団体との協働により、公園を活用した地域交流や、ワークショップなどによって地域の意見を取り入れた公園整備を行っています。今後も、公園の利用団体への支援や活動内容のお知らせ、公園再整備時のワークショップの開催などを、引き続き進めていきます。

また、全市的な取り組みである「公園活用促進プロジェクト」において示された「公園ボランティアの導入」や「地域の実態に即した公園ごとのルール作り」などのモデル事業を、今年度から、区内の公園で実施していきます。

このモデル事業は、市民の皆さんに公園への愛着を持っていただけるよう、より自由で利用しやすい公園造りを目指しているものです。

これからも、各公園にふさわしい管理運営や、区民の皆さんの主体的な活動を支援する協働型公園管理運営の検討を進めていきます。



ワークショップでは、話し合いのほか、現地の見学会も開かれています

運営基本方針Ⅱ

豊かな自然や歴史性を生かしながら、共に支えあい、ふれあいあふれる生き生きとしたまちづくりを実現します

「タッピーおもちゃBOX」を設置していきます

東区は、四歳以下の人口が市内十区の中で最も多く、子どもがたくさんいる地域です。そのため、子育てを支援する自主的な取り組みとして「地域子育てふれあいの場」が、区内で開かれています。

その運営や新たな立ち上げを支援して、地域の自主的な取り組みを促進するため、区

内各地区の必要に応じ、今年度から平成十七年度に向けて、遊具や絵本などをセットにした「タッピーおもちゃBOX」を設置し、地域の団体に貸し出ししていきます。



一部の地区では、まちづくりセンターで、子育て支援団体への貸し出しの受け付けを始めています

「東区物語」

語りの会を開きます

東区は、一八六六（慶応二年）の太友亀太郎おともかめたろうの入植により開拓が始まった、歴史の古い地域です。地域の魅力ある歴史・文化的資源について学び、地域への愛着や誇りを感じるために、歴史研究家や作家による、東区の史実や、ゆかりの人物に関する物語の会を開きます。

今年度は、太友亀太郎など開拓史実に関係の深い人物をテーマに開催します。

東区役所区政運営プランの策定にあたって



この区政運営プランは、施政方針である「さっぽろ元気ビジョン」の実現に向けて、区民の皆さんから信頼される区役所づくり、そして、まちづくりを進めるために、市長や副市長との協議、確認を経てまとめたものです。具体的な内容は、今年度を実施するものを中心としております。今後は、このプランを着実に実行し、サービスアップに努め、これまで以上に区民の皆さんとの対話を大切にしながら、住みよい東区の実現に向けて、区政を運営してまいります。

東区長

清水 洋勝